

平成 25 年 6 月 23 日

南沢見地区社会福祉協議会 防災訓練

自治会に南社協が共催して、災害発生時には一次避難場所となる、飛幡中学校を会場として防災訓練が行われました。この訓練を通して来るべき災害に備えて自分自身や地域で出来ることについて考えるきっかけとなれば幸いです。当日は時折、小雨が降っていましたが 60 余名の参加がありました。朝、周防灘沖で地震発生震度 6 強を想定して、各自へ連絡網により電話連絡があり、車椅子で学校までの避難誘導の時間を計りました。

主な訓練内容

- ① 119 番の電話のかけ方
- ② 水消火器訓練
- ③ 煙による訓練
- ④ 地震体験車
- ⑤ 街角での避難者誘導
- ⑥ 車椅子による避難誘導訓練

伝言

周防灘沖で地震です。震度 6 強 津波の心配はありません。
飛幡中学校へ避難して下さい。
車椅子の必要な要支援者を介護に行く協力員は、道路や
倒壊物に注意して避難させて下さい。・ ・ 以上至急連絡網で
回して下さい。

9:38 開始→9:40 社協へ連絡あり→9:58 車椅子避難終了



原田自治会長の挨拶



受付も準備万端です。



熱心に説明を聞いて



車椅子の人も受付です



白柿事務局長も参加され



堀井沢見市民センター館長



住宅火災発見時 119 番



交通事故を想定して 119 番 事故ですか・救急ですか?通報訓練





ピ・・・ピンを抜く
 ノ・・・ノズルをはずす
 キ・・・気を落ち着けて
 オ・・・押す

大声で火災の発生を知らせる
 火元の下を狙って3～5m
 離れて使用する。

水消火器での訓練



煙による訓練 煙を吸わないようにタオルを口と鼻にあてて姿勢を低くして壁づたいに避難する。

北九州市で初めての地震体験車が登場です。北九州市民として最初に体験できるなんて・・・



まずは説明から、4人ずつ震度2～7まで体験でき、始めは笑っていますが・・・



阪神大震災や東日本大震災の震度も体験でき横ゆれより直下型の縦にくるときは恐怖でした。ここでは机が固定されていましたが実際に起こればなにもできないということも分かりました。

★ 家の中で安全な場所としては、四隅が柱でかこまれているトイレ・風呂場だそうです。



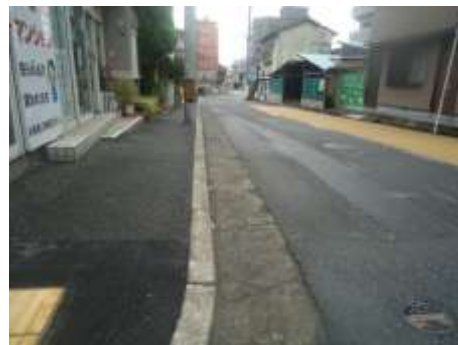
街角に白い腕章をつけた人が誘導していました。



車椅子での避難訓練



健常者の視線



車椅子での視線



- ・南社協からは地域別に 4 台の車椅子を出しそれぞれ体験しました
- ・傾斜のある道を下っていると、わずかな段差でも気を付けないと前のめりになりそうな事を体験しました。
- ・車椅子を押している介護者からは道路の状況は分かりにくく誘導する介護者の必要性を感じました。
- ・搭乗者が自力で車輪を回すことは困難
- ・車椅子を離れるときは必ずブレーキをしてから・・・

災害が発生した際は、第一に「自分の生命は自分で守る」という自助の考え方、第二に地域による助け合いによって「自分たちのまちは自分たちで守る」という共助の考え方が欠かせません。消防署員の方による公助には人数的にも限界があると思います。やはり地域の支えあいですね。



実際の災害は発生するまで予想することはできませんが、常に一人ひとりが高い防災意識を持つことが重要です。今年訓練に参加されなかった方も来年はぜひご参加ください。

各訓練も 12 時には終了し、いこいの家で非常食のおにぎりの準備をしていましたので、会場まで運び参加者に配られ、テント内で食べる人や持ち帰る人もいました。

すべての災いを取り除くことはできないでしょうが、せめて日々の近況を伝えあえる人がいることが大切なのではないのでしょうか

